

通告

過殿来函三出勤方御僅告致置候未々御出勤候迄一  
八月五日出勤時刻迄三御出頭候之ニ於テハ退職者ト見做シ處理可仕  
候間御承知相成度此致御通知致候也

七月二十九日

建築金物商人等

争議

日報 16号

東京市物産局  
建設部  
本部

介宿に属令した付  
曰常以有なる行動とるか、  
彈圧に、彈圧 争議 固本 部は二回も解散  
れ込に介宿する余知なくこれだ 争議 固本 部は  
集まる時より介宿は最も重大にして其の最後  
の高率の戦術を行ふ様だ。各分宿の者は朝  
八時召集、九時より介宿会議を毎日定期に  
開催して各自の意見を述べ介宿責任者公議に  
報告するし、介宿に居る者は各分宿の報告に  
と一名選出して毎日特回を定め用紙力つないと思ふ  
介宿に行き参加すし、各分宿に居る者は  
介宿責任者の命令通り行動し、個人行動  
を絶対にとる力、

新国たる確信を以て勝利へ突進せよ  
要求貫徹の日まで絶進戦へ！

資本家を擁護する

誦停絶対反對

漢陽署署者とかのつつかあらゆる手段を  
つとして争議の結末を乱そうとするは  
する程益を困るなりで、遂に、こたれ大  
分のつりは警視庁誦停課、位きこんた  
今迄の誦停で労働者側の利益になつた事か  
一度だつては、誦停は結構な、俺達の要求を  
全部入れられ、駄目だ、俺達は誦停と云ふ  
言葉に欺瞞されてはいけない、警視廳は資本  
家を守り労働階級を弾圧する機関だ、これ  
日本戦争の目前に暴露され、居る、てつ  
とり早く云へば警視庁の誦停課とは資本  
家の利益を擁護するため出来たもの  
左、争議は一旦、有利に進んでゐる  
か、友大の強固な弾圧により、警視庁  
誦停課の出勤、感力と云ふ、俺達を  
困らせ、又トラウマに勝つためには、一  
切の感情や私情の対立をこけて各分宿  
について、是れが、仕事に全力を集中し  
なければならぬ  
争議は一日くと有利に進んで居る